

S M F Lが参画

海運脱炭素 金融枠組み



海運業界の脱炭素化が進む

リース会社で初

三井住友ファイナンス&リース(SMFL)は、海

運業界の脱炭素化を促す国際的な金融機関の枠組み

「ポセイドン原則」に参画する。欧州中心に20の金融機関が参加する枠組みで、アジア企業では2社目、リース会社としては世界で初めて。

同原則は船舶を担保にし

た融資「船舶ファイナンス」に関し、二酸化炭素(CO₂)削減度の公表を義務付けている。環境性能

の高い船舶の導入を顧客に勧め、気候変動リスクに対処する。

SMFLは環境負荷軽減に積極的に取り組むことで、重点市場とする欧州を中心に、環境意識の高い企業として存在感を高める。将来的にはポセイドン原則

への参画が欧州企業との取

引要件になり得るともみている。同社の船舶ファイナンス残高は500億円規模。

同原則では、ファイナンス対象船舶のCO₂排出量実績を集計し、定められた基準排出量に対する船舶ごとの数値を算出する。数値

をファイナンス残高で加重平均した値を、CO₂排出削減寄与度として公表する。基準を超過した際の罰則規定はない。